

時事の話題

年金問題について

公的年金保険料の納付記録漏れは、大きな問題である。今回の事態は、政治の怠慢、役所への監視・管理不足が原因であり、政治の責任問題だ。一刻も早く国民の不安を払拭することが先決であるが、社会保険庁の民営化も含めて政府を挙げて全力で取り組んでいただきたい。

骨太の方針2007について

「経済財政改革の基本方針2007」は、成長力の強化、行財政システムの構築、持続的で安心な社会の実現を目指し、成長重視の戦略に軸足を置かれたことを評価する。中小・ベンチャー企業への力強い支援が充実することを期待する。一方、歳出削減計画では、具体策に欠ける印象だが、こちらも強力に財政再建へ向け取り組んでいただきたい。

最近の経済界の不祥事について

大林組が関与した枚方市の清掃工場談合事件や、コムスの不正行為問題など、企業の不祥事が相次いでいる。企業は、社会の構成員のひとりとして、規範やルールに則り、社会に貢献しなければならない。会員企業の皆様には、法令遵守や公明正大な企業経営を再確認していただきたい。

京都商工会議所の動き

楽洛(らくらく)キャンパス事業について

本事業は、各界を代表する講師陣から京都の「ほんまもん」を学ぶことにより京都の奥深さと新たな魅力を発見する機会を提供するもので、昨年度から実施している。今年度は、9月から順次実施し、延べ5,000人の参加者を見込んでいる。「学びの観光」として新たな旅行スタイルを提案し、京都ファンの創出につなげたい。

第4回京都・観光文化検定試験(京都検定)の実施について

・今年の試験日は、12月9日。第3回までの受験者数は、延べ32,700人。今回の受験者の目標は1万1千人。第1回目から注目度も高く、京都の歴史・文化の継承に貢献できたと考えている。今回も多くの皆様に受験いただくよう万全の準備を整え、試験を実施したい。

・京都検定合格者への優遇サービスとして、これまでの合格者全ての方を対象に、財団法人京都伝統技芸振興財団の特別協力のもと、ギオンコーナーの定期公演を無料で鑑賞させていただけることになった。今後、合格者に対するインセンティブを充実させていきたい。

「早期転換・再挑戦支援窓口」の設置について

本所では、中小企業庁の業務委託を受け「早期転換・再挑戦支援窓口」を7月2日に設置する。過去に事業に失敗した中小企業経営者の再起業支援を目的に実施するもので、専門の相談員が常駐し、事業撤退や再起業に関する相談を無料で受け付ける。必要に応じて、弁護士や会計士などの専門家を派遣するなど、きめ細やかなサポートが可能。今回の窓口開設を機に、中小企業の再生支援をさらに強化したい。

記者からの質問事項

京都企業にも買収防衛策を導入する動きがあるが、どうご覧になられるか？

まず、企業は、本来的な企業価値向上に取り組むべきであろう。適切な企業情報の開示を通じて、株主への説明責任を果たすことが重要。しかし、敵対的買収やグリーンメーラーの存在など、企業を取り巻く環境が著しく変化している。そうしたことが、買収防衛策の導入につながっていると考えている。

参議院銀選挙の争点について、どのようにお考えか？

国民感情的には、年金問題がひとつの大きな争点だろう。しかし、この問題は党利党略の具にせず、政府を挙げて国民の不安の払拭に取り組むべきだ。

むしろ、私は、財政再建も含めた経済政策が争点になるべきだと考えている。経済が着実な成長軌道に乗り景気がよくなれば、財政再建の道筋も明るくなる。歳出削減を最優先にしながら、2011年度までにプライマリーバランスを黒字化するという政府目標を達成していただきたい。

以 上